

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード 9792)

公告方法 電子公告
(<http://www.nichiigakkan.co.jp/ir/notification.html>)

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

三菱UFJ信託銀行
本店証券代行部 **0120-244-479**

通話料
無料

三菱UFJ信託銀行
大阪証券代行部 **0120-684-479**

インターネットアドレス▶ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

ニチイグループの 全国ネットワーク

医療関連、介護・ヘルスケア、教育。
全国にひろがるネットワークで、
安心・快適なサービスをお
お届けしています。



北海道

契約医療機関数 417件
介護サービス拠点 54カ所
教室数 9カ所
COCO塾・GABA 3カ所

東北

契約医療機関数 936件
介護サービス拠点 125カ所
教室数 35カ所
COCO塾・GABA 16カ所

関東

契約医療機関数 2,303件
介護サービス拠点 469カ所
教室数 92カ所
COCO塾・GABA 97カ所

中部

契約医療機関数 2,111件
介護サービス拠点 263カ所
教室数 61カ所
COCO塾・GABA 28カ所

近畿

契約医療機関数 1,254件
介護サービス拠点 249カ所
教室数 47カ所
COCO塾・GABA 28カ所

中国

契約医療機関数 726件
介護サービス拠点 94カ所
教室数 24カ所
COCO塾・GABA 10カ所

四国

契約医療機関数 362件
介護サービス拠点 34カ所
教室数 13カ所
COCO塾・GABA 8カ所

九州

契約医療機関数 969件
介護サービス拠点 107カ所
教室数 38カ所
COCO塾・GABA 16カ所

※COCO塾にはCOCO塾ジュニアを含んでいます。
※COCO塾ジュニアにつきましては、フランチャイズ教室は含んでいません。

やさしさを、私たちの強さにしたい。



株主のみなさまへ

第44期 中間報告書

2015年4月1日～
2015年9月30日

介護の悩みや不安ご質問。お気軽にご相談ください。
フリーダイヤル **0120-605-025**

教育講座の資料請求はこちらまでご連絡ください。
フリーダイヤル **0120-555-212**

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第44期中間のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役会長 兼 社長 寺田 明彦

少子高齢化による労働人口の減少や雇用環境の改善を背景に、人材確保が全産業的な課題となっております。介護業界においても人材不足が顕在化しており、本年4月に施行となった介護報酬改定では、介護職員への処遇改善交付金の拡充が図られました。一方、基本報酬単価については、大幅な引き下げが図られ、介護事業者にとって厳しい改定となりました。

このような中、ニチイグループでは制度リスクからの脱却を図るべく、「医療関連」「介護」「教育（語学）」「保育」の国内事業4本柱体制の構築と、グローバル化戦略を主軸とする中期経営戦略を推進しております。当中間期におきましては、国内戦略事業が牽引し増収となりましたが、介護報酬における基本報酬単価の大幅引き下げや、介護現場の人材不足に起因するサービス利用者数の減少により減益となりました。

業績においては厳しい結果となりましたが、現在、支店や現場といった組織細部に至るまでマネジメントの強化を図り、磐石な組織体制を目指すとともに、医療関連・介護事業といった主力事業の成長回帰、戦略事業である保育・語学事業の拡大に向けた施策を断行しております。主力事業では、サービス提供の要となる人材獲得に向けた抜本的な組織改革・事業運営体制改革を進めており、戦略事業では、制度動向に沿った保育所展開、市場ニーズを汲んだ連続的な語学サービス基盤構築に取り組むことで、積極展開を進めております。

グローバル化の中核を担う中国事業においては、日本式の在宅介護サービスの浸透と健全な市場創造を目指し、包括的なケアサービスモデルの創造、サービス提供スキームの構築を進めており、本年7月より、準備が整った地域から、地域事業者との協働による人材養成・サービス提供を開始しております。引き続き、基盤構築強化を推し進め、中国全土での事業展開を早期実現するべく努めてまいります。

下期におきましては、介護人材の獲得から採用までに一定の期間を要することや、中国事業における基盤整備を継続的に進めていることから、業績予想を修正させていただきました。株主のみなさまには、今期業績が不本意な結果になっておりますこと、お詫び申し上げます。配当金につきましては、今後の中国事業の本格稼働、国内戦略事業の成長拡大を確信し、計画どおり1株当たり1円増配となる11円とさせていただきます。通期では、1株当たり22円（うち期末配当金11円）を予定しております。

今後もニチイグループでは、「社業の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献する」という経営理念のもと、事業展開を通じて社会が抱える課題解決へと貢献できるよう努めていくとともに、企業価値の向上・長期安定成長の実現を目指し、邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

特集 1

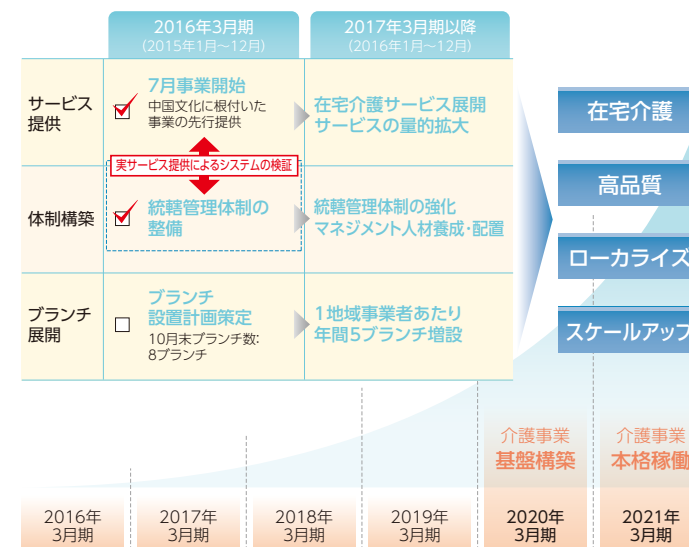
中国事業の進捗について

本年7月よりサービスを開始。中国各地を一つに結ぶ統轄管理体制を構築中

当期より、「在宅介護」「高品質」「ローカライズ」「スケールアップ」をキーワードに、中国における本格的な事業展開を推し進めており、7月には、産前産後ケアサービス等の中国文化に根ざしたサービスの展開を開始いたしました。

事業拠点「ランチの設置」を強力に推し進め、在宅介護の浸透、市場育成、雇用創出が図れるよう、現在、中国現地の地域事業者およびサービスを統轄管理する体制の構築を進めております。サービス運営から得られたフィードバックをベースに、コーポレート・ガバナンス体制の構築や、幹部人材養成プログラムの開発、ウェブサイト、事業管理・会計管理に係るIT整備等を進めており、事業者間で異なる運営管理体制の統一化を図っております。

今後の成長を支えるフルスケールの統轄管理体制を早期に構築し、2020年3月期までに介護事業基盤構築、2021年3月期以降の介護事業本格稼働を実現してまいります。



TOPICS

地域事業者6社を連結化しました。

グループ化の契約を締結した15社のうち、産前産後ケアや家政サービスを提供する6社を連結化いたしました。当該6社には当社子会社「日醫香港有限公司」が51.0%～66.7%を出資しており、経営成績は、〈その他事業〉に計上されております。

「中福日医(上海)健康服务有限公司」設立に関する合併契約を締結しました。

同合併会社は、当社子会社「日醫香港有限公司」と「北京至愛宏宇科技有限公司」「上海中民老齡事業發展服務中心」が出資し、「日醫香港有限公司」が51.0%を出資いたします。合併会社では、地方行政への営業活動の中核を担うとともに中国の風土・文化を融合した高付加価値サービスを提供いたします。設立は、今冬を予定しています。

地域事業者との協業による日医のケアサービスを開始しました。

7月の常州でのサービスインを皮切りに、武漢、深圳の3都市で、産前産後ケア、ベビーシッターサービスを、杭州で家政サービスを開始しています。中国各地を一つに結ぶ統轄管理体制を早期に構築し、在宅介護サービスの展開やサービスメニュー、サービスエリアの拡大につなげてまいります。

特集 2

「教育から就業まで」人材養成スキームの再構築

ニチイの強みを最大限に発揮するため、創業初となる人材養成に関わる組織体制及び養成スキームの改編を行いました。

労働人口が減少する中、高齢者数は増加の一途をたどっており、介護人材の確保は、社会保障が抱える大きな課題となっております。当社においては、人材基盤の強化を重要課題と位置づけ、強みである「教育から就業まで」のさらなる強化を図っております。

本年4月には、これまで教育部門で行っていた養成講座の運営を事業部門に移管し、事業部門が教育、採用、研修、サービス提供までを一貫して行う体制へと改革いたしました。

各養成現場においては、教育講座による人材養成の価値・利点を再認識し、受講者一人ひとりをより長く、より深くサポートすることで、スムーズに現場へと送り出す体制を整えております。4月に設置した支社においては、経営幹部候補者を現場から発掘、共育し、経営幹部へと登用する取り組みも始めております。

ニチイでは、スタッフの志向に合わせたキャリアプランを設け、介護のプロから管理職へとステップアップができる仕組みを築いております。このキャリアプランを発展させ、経営幹部への道筋をしっかりと立てることで、長く、やりがいをもって働ける環境づくりに努めてまいります。

当中間期においては、人材不足に伴うサービス提供量の低下により、株主のみなさまに多大なるご心配をおかけするところとなりましたが、以上の取り組みにより、人材の確保・定着により、人材基盤の強化を図り、生活上の様々なニーズにお応えする高品質サービスの提供へとつなげてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、ニチイの人材養成力にご期待いただき、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



取締役事業統轄本部
介護事業本部長
黒木 悦子

支店長インタビュー



千葉支店ヘルスケア事業 支店長 吉野 悦子

新たな人材養成スキームのもと、支店一丸となって、スタッフ一人ひとりのキャリアビジョンの実現に努めてまいります。

Q 講座の運営をヘルスケア事業支店で行うようになり、変わった点はありますか。

運営から採用を一つの部署で実施できるため、事業方針の浸透や、講座運営側と採用側の連携が図りやすくなりました。職員一人ひとりがスタッフの獲得に向け、何をすれば良いのかが明確になり、受講生に対し

て効果的なアプローチができるようになりました。また、受講生の情報や採用に関する情報を日頃より共有することで、就業希望の方々に対して専門的な視点で相談に乗り、一人ひとりに合った、最適な就業先のご案内が可能になったと感じています。



1
講座体験
フェア

4
就業相談会



2
介護体験
セミナー

ニチイの多彩な
支援プログラム

5
職場見学会



3
学習フォロー
制度

6
就業前
事前研修



1 講座の一部授業を実際に体験し、講座内容の理解や受講促進を図っています。

2 一般の方が介護について理解を深められるよう、様々なプログラムを体験してもらいます。

3 急な欠席に対応する振替制度や、延長制度を用意し、様々なニーズに対応しています。

4 希望条件や、将来のキャリアについて、就業に関する質問に何でもお答えします。

5 実際に職場を訪問・見学し、就業後のイメージを深めてもらいます。

6 事前に、接遇やサービスについての説明を受け、就業後の不安を取り除きます。

Q 受講生から就業へつなげるため、どのような取り組みを行っていますか。

受講生の方々には、実際の介護現場の雰囲気を知ってほしいので、介護事業所の写真を入れたツール作成や現場見学会を開催し、介護現場で働くイメージをつかんでもらえる機会を増やしています。そのうちの一つに、拠点長が受講生に自拠点の説明や介護職の魅力を伝える機会を設けており、受講生が拠点長や拠点の雰囲気

気に惹かれて入社するケースや、就業希望ではなかった受講生が就業に至ったケースなどもあります。

Q 就業後のスタッフには、どのようなフォローをしていますか。

各拠点長の指導のもと、入社したスタッフをしっかり育成し、支店としても、一人ひとりが将来のビジョンと自信が持てるよう、定期的にフォローしています。現場で経験を積み、介護福祉士、介護支援

専門員の資格取得をして管理職を目指す方もいれば、技術や専門性を極めニチイの講師となって介護スタッフを養成する側になる方もおり、キャリアプランはスタッフの数だけ存在します。ニチイの充実したキャリアアップ制度を活用していただきながら、一人ひとりのキャリアビジョン実現に向け、支店一丸となってスタッフ育成に努めていきます。

ニチイの保育事業

地域のニーズに応じた保育サービスラインナップを実現

昨今の人口減少社会において、労働力の確保に向けた施策、『一億総活躍社会の実現』の中で最も重要な政策の一つとなっている『子育て支援政策』。この国策に貢献すべく、ニチイは保育部門を主力事業に位置づけました。今年度より施行された「子ども・子育て支援新制度」の下で、各自治体のニーズに応じた保育サービスを積極的に展開。仕事と家庭の両立をサポートしてまいります。

子ども・子育て支援新制度の主な取り組み

支援の量を拡大

保育を必要とする全ての家庭が利用できる支援を目指す。

- ◆ 子どもの年齢や親の就労状況に応じた多様な支援を用意。教育・保育や子育て支援の選択肢を拡充する。
- ◆ 1人目はもちろん、2人目、3人目も安心して子育てできるように、待機児童の解消に向け、教育・保育の受け皿を増やす。

地域ニーズに応じた多様な子育ての拡充

- ◆ 待機児童の多い0～2歳児を対象とした子育て支援を拡充させる。
- ◆ 新たに市町村の認可事業となった家庭的保育、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育の4タイプの事業を増やす。



ニチイの保育事業実績

ニチイの認可保育所は2015年9月末現在、全国35カ所に設置しており、そのうち教育・保育施設が20カ所、地域型保育が15カ所あります。来年4月には更に認可保育所20カ所以上を設置することが決定しており、ニチイの保育所は認可外保育所と合わせると100カ所以上となる予定です。



ニチイの保育サービス

『思いっきり遊ぶ。思いっきり学ぶ。』という保育理念のもと、やさしく強く生き抜く力を育みます。お子様を安心して預けただけ、安全で健全な生活環境をご用意した上で、子どもたちも、保護者の方々も、地域の人々も、みんなが笑顔になれる保育サービスを展開しています。

おもいっきり。

●● 「ニチイキッズ」はこんなところ ●●

- 1 ○ 生活の基本となるあいさつ、社会のルールやマナーを学びます。また、徳育・食育・体育を通じて、子どもの心と身体、両面の健全な成長を支えます。
- 2 ○ アクティビティを通じて学ぶ楽しさ、達成する喜びの機会を創出、アートや音楽を通じて想像力や表現力を磨きます。
- 3 ○ 園内の友達や周囲との関わりを通して、自ら考え行動する自発力を育みます。地域社会との交流を通じて、思いやりの心や協調性を育みます。



ニチイ独自のカリキュラム

「COCO塾ジュニア」の講師が英会話レッスン

ニチイの語学スクール「COCO塾ジュニア」の講師による英会話教室を多くの保育園で導入しています。ネイティブ講師による年齢別英会話レッスンを無料で提供。



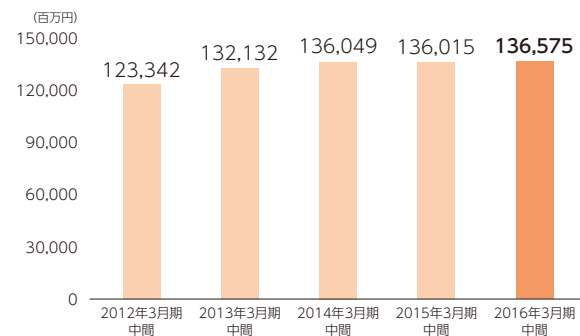
高齢者との異世代交流

ニチイの介護施設に出かけ、高齢者とのレクリエーションなどを楽しみます。異世代との交流が図れるのは、介護施設も運営するニチイならではの特徴です。

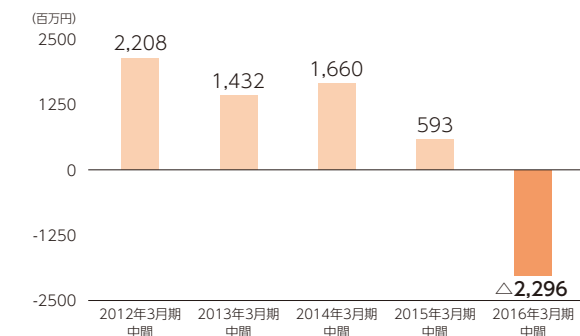


連結業績ハイライト

売上高



親会社株主に帰属する四半期純利益

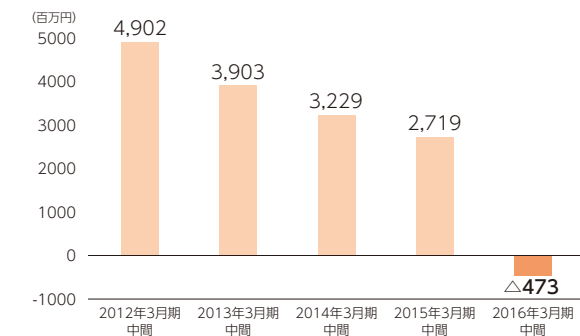


当中間期の売上高は、医療関連部門における新規病院契約の獲得や、語学部門、保育部門における新規顧客の獲得が進み、過去最高売上高の更新となる136,575百万円となりました。

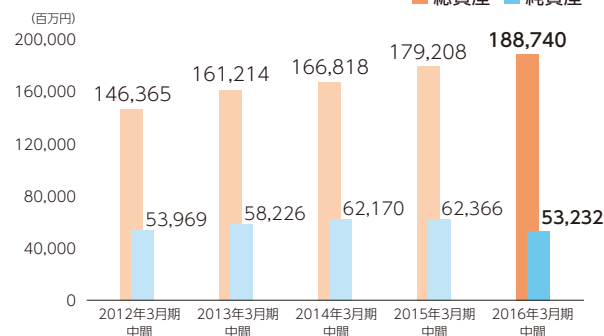
営業利益は、介護報酬改定における各サービスの基本報酬の大幅引き下げや、介護人材の不足による売上高の減少により、△473百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減少や、役員退

営業利益



総資産・純資産



職慰労金制度廃止に伴う通常型ストックオプションの発行費用(特別損失 株式報酬費用360百万円)を計上したことなどにより、△2,296百万円となりました。

財政状態につきましては、当中間期の総資産は、現金及び預金やリース資産の増加などにより188,740百万円(前期に比べ4,185百万円増加)となりました。純資産は、利益剰余金の減少、自己株式の取得により53,232百万円(前期に比べ3,453百万円減少)となりました。

2016年3月期 通期業績予想の見通しについて

	2015年3月期	2016年3月期(期初予想)	2016年3月期(修正予想)
売上高	271,868百万円	294,300百万円	275,500百万円
営業利益	5,173百万円	8,900百万円	200百万円
経常利益	3,144百万円	6,100百万円	△2,400百万円
親会社に帰属する当期純利益	416百万円	2,600百万円	△3,500百万円

2016年3月期は、介護人材を確保しサービス利用者数を増加させることで、報酬改定の影響を吸収し増収増益を見込んでおりました。人材獲得に向け、本年4月より支店体制を教育講座の運営から採用まで事業部門にて一貫して行う体制へ改革いたしました。人材供給体制の拡充に至りませんでした。そのため、サービス利用者数が計画を下回って推移し、報酬改定の影響を大きく受けることとなり、業績予想を修正いたしました。しかしながら、4月に行った改革の効果発現により、講座受講生数は増加基調に転じております。この効果による業績への反映

は、講座修了から採用までに一定期間を要することから第4四半期以降を見込んでおります。

また、中国事業につきましても、一部サービス提供を開始いたしました。地域事業者の営業開始に係る行政手続きや現地管理体制の構築に時間を要しており、本格的な事業開始は来期以降を見込んでいるため、業績予想を修正いたしました。

今期につきましては、厳しい予想となりましたが、主力事業の成長回復・戦略事業の本格稼働に向け、全社一丸となって取り組み、早期業績の回復に努めてまいります。

セグメント情報

セグメント別の業績につきましては、以下のとおりです。

(単位:百万円)

売上高	2015年3月期		2016年3月期		
	中間	通期	中間	通期(期初予想)	通期(修正予想)
医療関連	53,896	108,378	54,398	111,500	109,400
介護	73,032	145,008	71,769	151,400	144,400
ヘルスケア	1,999	4,378	1,942	8,200	4,200
教育	6,067	12,265	6,373	13,600	13,200
保育	955	2,228	1,460	9,200	3,200
その他	709	1,313	1,225	1,500	2,400
消去・全社	△647	△1,703	△593	△1,100	△1,300
合計	136,015	271,868	136,575	294,300	275,500

(単位:百万円)

営業利益	2015年3月期		2016年3月期		
	中間	通期	中間	通期(期初予想)	通期(修正予想)
医療関連	3,890	8,039	3,794	9,100	7,700
介護	6,674	11,566	3,333	11,950	7,000
ヘルスケア	△62	213	128	1,130	400
教育	△3,264	△6,169	△2,856	△5,100	△5,500
保育	△312	△706	△492	80	△900
その他	297	457	45	△60	0
消去・全社	△4,502	△8,228	△4,428	△8,200	△8,500
合計	2,719	5,173	△473	8,900	200

連結貸借対照表の要旨

2015年9月30日現在

科目	金額	科目	金額
資産の部			
流動資産	61,906	負債の部	
固定資産	126,833	流動負債	60,057
有形固定資産	75,403	固定負債	75,450
無形固定資産	21,093	負債合計	135,508
投資その他の資産	30,336	純資産の部	
資産合計	188,740	株主資本	52,171
		資本金	11,933
		資本剰余金	17,354
		利益剰余金	34,261
		自己株式	△11,377
		その他の包括利益累計額	△94
		新株予約権	492
		非支配株主持分	661
		純資産合計	53,232
		負債純資産合計	188,740

連結損益計算書の要旨

2015年4月1日から2015年9月30日まで

科目	金額	科目	金額
売上高	136,575	営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028
売上原価	111,774	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,761
売上総利益	24,801	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,718
販売費及び一般管理費	25,275	現金及び現金同等物にかかる換算差額	△27
営業利益(△損失)	△473	現金及び現金同等物の増減額	△42
営業外収益	689	現金及び現金同等物の期首残高	9,821
営業外費用	1,916	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,820
経常利益(△損失)	△1,701	現金及び現金同等物の四半期末残高	12,599
特別損失	380		
税金等調整前四半期純利益(△損失)	△2,081		
法人税、住民税及び事業税	769		
法人税等調整額	△525		
四半期純利益(△損失)	△2,325		
非支配株主に帰属する四半期純利益(△損失)	△28		
親会社株主に帰属する四半期純利益(△損失)	△2,296		

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

2015年4月1日から2015年9月30日まで

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,718
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△27
現金及び現金同等物の増減額	△42
現金及び現金同等物の期首残高	9,821
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,599



さらに詳しい情報は、当社ホームページに掲載しております。

ニチイ IR

検索

http://www.nichiigakkan.co.jp/ir/

株式の状況 (2015年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	220,000,000株
発行済株式総数	73,017,952株
資本金	11,933,790千円
株主数	22,956名

所有者別株式の状況 (2015年9月30日現在)

個人・その他	外国法人等	金融機関	その他の法人	
33.2%	17.7%	14.7%	21.7%	
			自己名義株式 12.0%	
			金融商品取引業者 0.4%	

(注1) 株式保有比率については、少数第2位を切り捨てて表示しています。

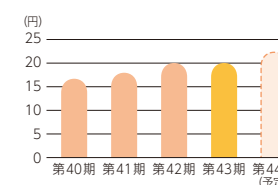
大株主 (2015年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社 明和	15,420	24.0
寺田 明彦	9,990	15.5
ロイヤルバンクオブカナダトラスト カンパニー(ケイマン)リミテッド	7,876	12.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,547	7.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,607	2.5
日本生命保険相互会社	1,239	1.9
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	1,208	1.8
ニチイ学館従業員持株会	1,080	1.6
株式会社東京都市銀行	1,010	1.5
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,009	1.5

(注1) 持株比率は自己株式(8,825千株)を控除して計算しております。
(注2) 信託銀行持株数には、信託業務に係るものが含まれています。
(注3) 持株比率については、小数第2位を切り捨てて表示しています。

配当について

当社では、株主のみなさまへの安定的かつ継続的な利益還元を基本方針とし、中長期的な視野での業績動向を勘案し、連結業績をベースとした配当政策を策定しております。当期の中間配当につきましては、1株あたり11円の配当とし、年間で22円の配当を予定しております。



会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	株式会社ニチイ学館	
所在地	東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 TEL:03(3291)2121[代表] TEL:03(3291)3954[広報部]	
設立	1973年8月	
従業員数	17,186名(連結)	14,742名(単独)
事業所数	本社(東京) 1 支社 4 支店 98 営業所 12 介護拠点 1,333	※在宅系介護サービスから居住系介護サービスまで、当社介護事業における拠点の物件数を表示しています。

役員 (2015年10月1日現在)

代表取締役会長兼社長	寺田 明彦
代表取締役副社長	寺田 大輔
専務取締役	森 信介
専務取締役	増田 崇之

常務取締役	寺田 剛	取締役	中村 誠
常務取締役	井出 貴子	社外取締役	森脇 啓太
取締役	寺田 孝一	社外取締役	杉本 勇次
取締役	海瀬 光雄	常勤監査役	乙丸 秀次
取締役	木原佳代子	監査役	大島 秀二
取締役	黒木 悦子	監査役	松野 一平
取締役	星野 清美	執行役員	伊藤 健三
取締役	種元 崇子	執行役員	速水 修二
取締役	日下部智哉	執行役員	齋藤富士子
取締役	平岡 靖宏	執行役員	鈴木 恵